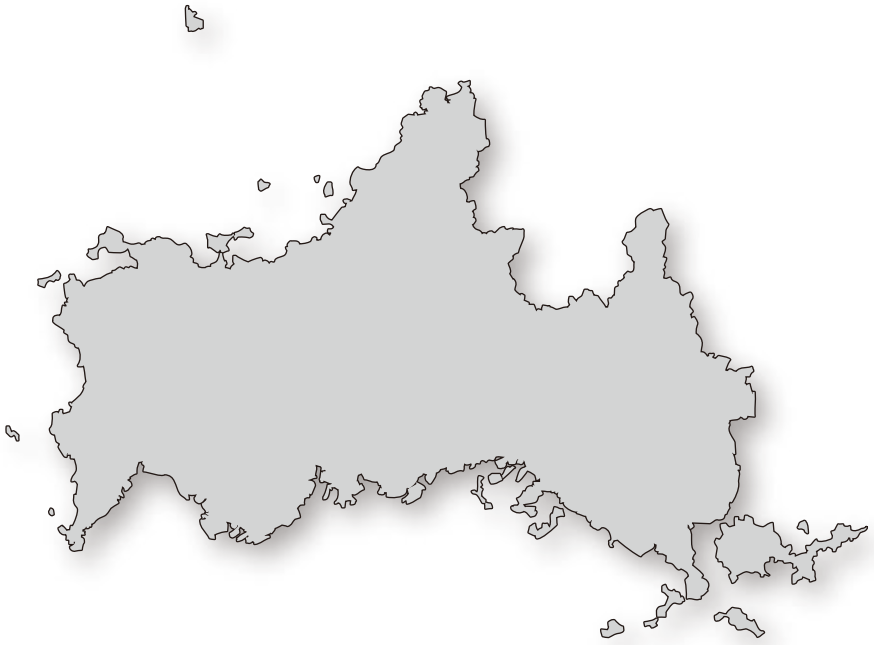
山口県商工会地域
中小企業景況調査報告書

2026年4月－6月期



調査要項 …… 1P
1　山口県　全産業 …… 2P
2　山口県　製造業 …… 3P・4P
3　山口県　建設業 …… 5P・6P
4　山口県　小売業 …… 7P・8P
5　山口県　サービス業 …… 9P・10P
6　全　国　全産業 …… 11P
7　山口県　調査対象企業の声 …… 12P～13P

2026 年 7 月 24 日
山口県商工会連合会

商工会会員の皆さまへ **安心補償のお知らせ!!**

シニア傷害プランも対象!

傷害プランの2,000円、3,000円、4,000円コース、シニア傷害プランは

「熱中症の補償」と「個人賠償責任保険」を付帯しています!



けがの補償で**熱中症も補償**

熱中症の補償

日常生活や業務中に

熱中症になったときに補償

●例えば、このような熱中症になったとき



猛暑の中、
工事現場作業中



猛暑の中、
スポーツをしていたとき



猛暑の中、
家にいたとき



小学校での遠足中

熱中症とは 急激かつ外来による日射または熱射により身体に障害を被ったことをいいます。



個人賠償の中身も**充実の安心補償**

個人賠償責任保険

最高2億円まで補償

(国外は1億円限度)

●例えば、このような事故が起きたとき



自転車を運転中、あやまって他人と接触してケガをさせてしまった!



飼い犬が散歩中に他人に噛みつきケガをさせてしまった!



他人から借りたギターをあやまって壊してしまった!



友人同士で遊んでいる最中に、あやまって通行人にケガをさせてしまった!

日常生活における様々な法律上の賠償事故を補償します!

※保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。ご加入にあたっては補償内容を十分ご確認ください。
※保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いしない主な場合については、パンフレットの「補償のあらまし」をご確認ください。
※「個人賠償」の補償、「熱中症」の補償は**傷害ライトプランには付帯されません。**
※個人賠償責任保険について、国内での事故(訴訟が国外の裁判所に提起された場合等を除きます。)に限り、**示談交渉は原則として東京海上日動火災保険株式会社が行います。**
※個人賠償責任保険は東京海上日動火災保険株式会社(引受保険会社)が補償する「総合生活保険(個人賠償責任補償)」です。

補償内容をわかりやすく解説した**動画**もご覧ください!

ご視聴は二次元コードから

この広告は、福祉共済「傷害プラン」の熱中症の補償と個人賠償責任保険(「総合生活保険(個人賠償責任補償)」)の概要を紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明」をよくお読みください。ご不明な点がありましたら、商工会までお問い合わせください。

商工会・都道府県商工会連合会・全国商工会連合会

〈引受保険会社〉**東京海上日動火災保険株式会社** [担当課]広域法人部 法人第一課　東京都千代田区三番町6-4　TEL.03-3515-4147

2025年8月作成　25TC-002245

調査要項

1　調査趣旨

この調査は、商工会地域の企業活動状況を把握するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託を受けて全国商工会連合会が実施するもので、本会はこれら貴重な景況情報を「山口県商工会地域中小企業景況調査報告書」としてまとめ、商工会の経営改善普及事業の効果的実施に資することを目的とする。（年 4 回発行）

2　調査対象地区及び対象企業等

（1）全国商工会連合会により指定された 614 地区の商工会のうち、山口県は 10 商工会 150 企業を調査対象として指定する。

（2）調査対象区域は地域人口等に配慮し、県東部・中部・西部・北部地域の商工会とし、製造業及び建設業は従業員 20 名以下、小売業及びサービス業は従業員 5 名以下の企業規模を対象とする。

（3）調査対象企業は、1 商工会地域につき 15 企業とし、業種は製造業、建設業、小売業及びサービス業（サービス業は飲食店、宿泊業、洗濯業、理美容その他のサービス）の 4 種類とする。

3　調査対象期間及び調査時点等

・調査対象期間及び調査内容は 2026 年 4－6 月期における前期及び前年同期に対する景況感（現況）と来期（2026 年 7－9 月期）における景況見通しを調査した。

・調査は 2026 年 5 月 21 日から 6 月 5 日の期間に実施した。

・調査方法は商工会経営指導員による聴き取りでおこなった。

4　回答企業数内訳

業　　種	対象企業	構 成 比	回答企業	回 答 率
製　造　業	29	19.3％	29	100.0％
建　設　業	30	20.0％	30	100.0％
小　売　業	42	28.0％	41	97.6％
サービス業	49	32.7％	48	97.9％
合　　計	150	100.0％	148	－

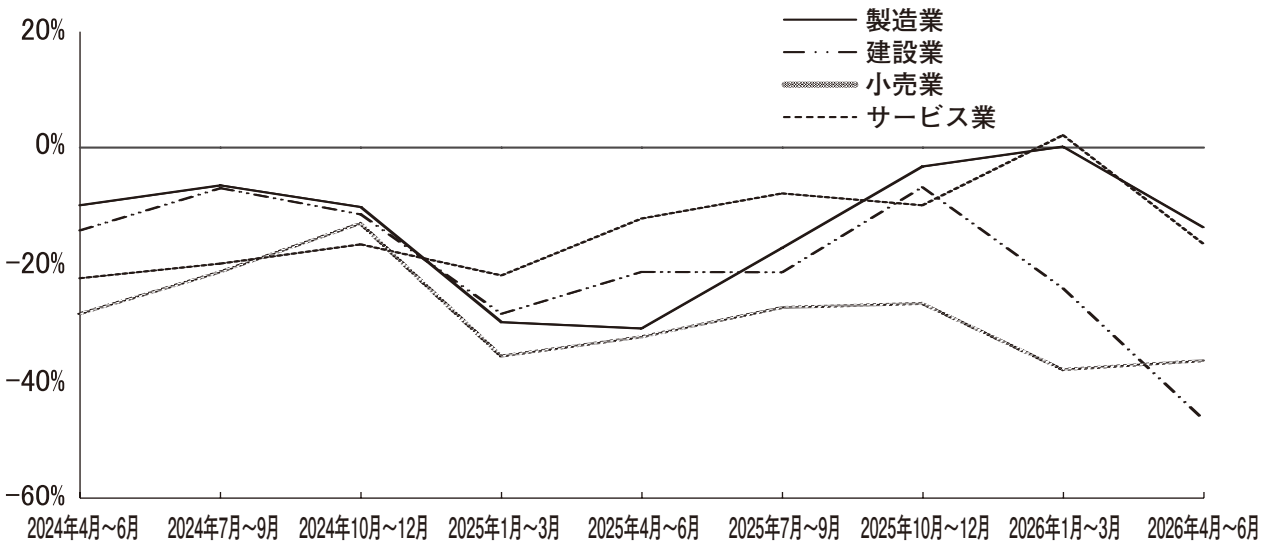
5　業況判断指標

景況を示す業況判断指標は、Diffusion Index（DI）を用いた。DI は前年同期（基準）に対する変化の方向については、上昇（好転）とする回答割合から低下（悪化）とする回答割合を差引いた数値で、「変化の趨勢を示す指標」として用いられている。

※DI がプラスの場合は「強気･楽観」傾向つまり上昇機運にあるとされ､マイナスの場合は「弱気･悲観」傾向つまり低下機運にあるとされている。また、プラス・マイナスが同数（DI ゼロ）の場合は変化がないことを示す。

1．山口県　全産業

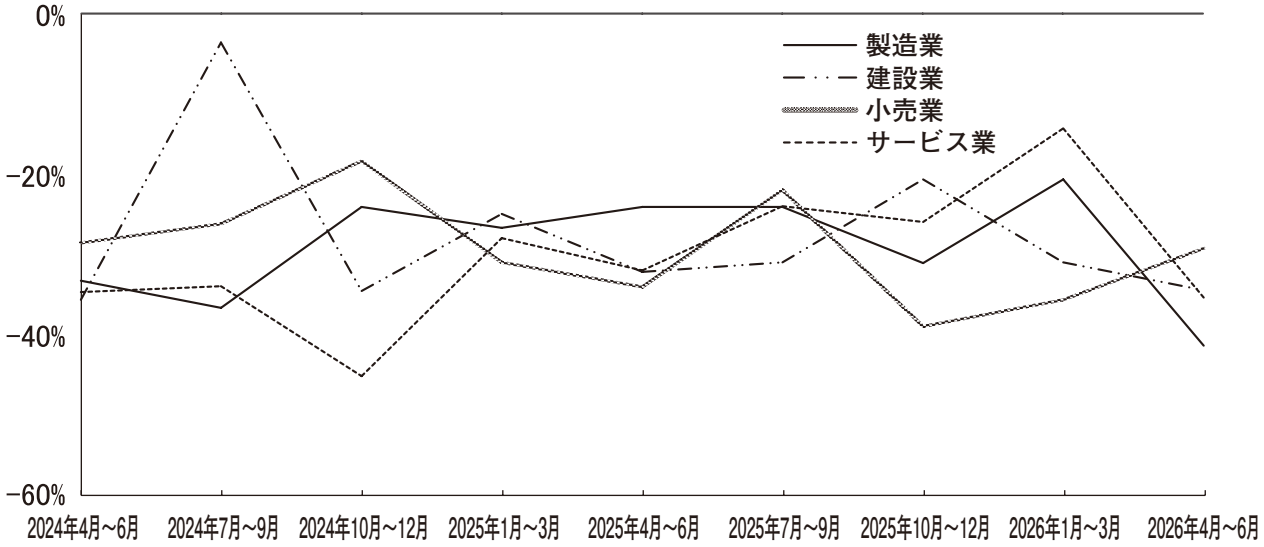
1　売上（完成工事）額の推移　－前年同期比－



ＤＩ値　製造業－13.8（前期は 0.0、前年同期は－31.1）、建設業－46.6（前期は－24.2、前年同期は－21.4）、小売業－36.6（前期は－38.1、前年同期は－32.5）、サービス業－16.6（前期は2.0、前年同期は－12.3）

業況ＤＩ値　製造業－20.7（前期は－31.0、前年同期は－27.6）、建設業－27.6（前期は－20.7、前年同期は－21.5）、小売業－26.8（前期は－40.5、前年同期は－35.0）、サービス業－27.6（前期は－2.1、前年同期は－22.0）

2　採算の推移　－前年同期比－

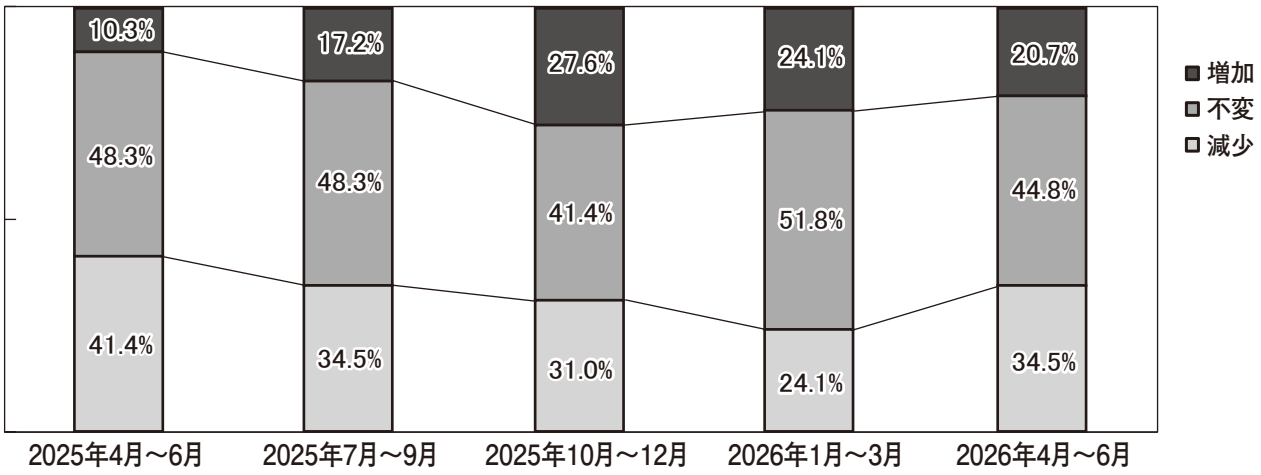


ＤＩ値　製造業－41.4（前期は－20.7、前年同期は－24.1）、建設業－34.5（前期は－31.0、前年同期は－32.2）、小売業－29.3（前期は－35.7、前年同期は－34.1）、サービス業－35.4（前期は－14.3、前年同期は－32.0）

資金繰りＤＩ値　製造業－24.1（前期は－17.3、前年同期は－17.2）、建設業－23.4（前期は－10.4、前年同期は－20.7）、小売業－27.5（前期は－21.5、前年同期は－25.0）、サービス業－17.4（前期は－8.2、前年同期は－26.0）

2．山口県　製造業

1　売上額の状況　－前年同期比－

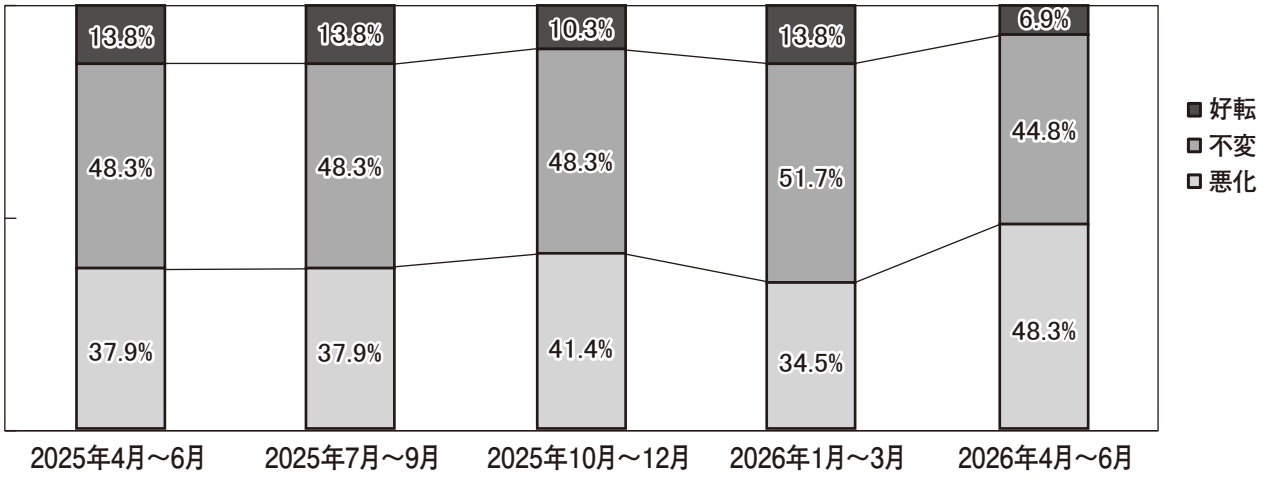


前期と比較　「増加」20.7%（前期は 13.8%、前年同期は 10.3%）、「不変」48.3%（前期は 69.0%、前年同期は 51.8%）、「減少」31.0%（前期は 17.2%、前年同期は 37.9%）

来期見通し　「好転」27.6%（前期は 24.1%、前年同期は 6.7%）、「不変」58.6%（前期は 58.7%、前年同期は 53.3%）、「悪化」13.8%（前期は 17.2%、前年同期は 40.0%）

その他のＤＩ値　**原材料在庫数量** 3.5（前期は 6.9、前年同期は－6.9）、**製品在庫数量**－10.7（前期は 10.4、前年同期は－11.1、**売上単価** 24.1（前期は 31.0、前年同期は 20.7）、**売上数量**－20.7（前期は－13.8、前年同期は－31.0）

2　採算の状況　－前年同期比－

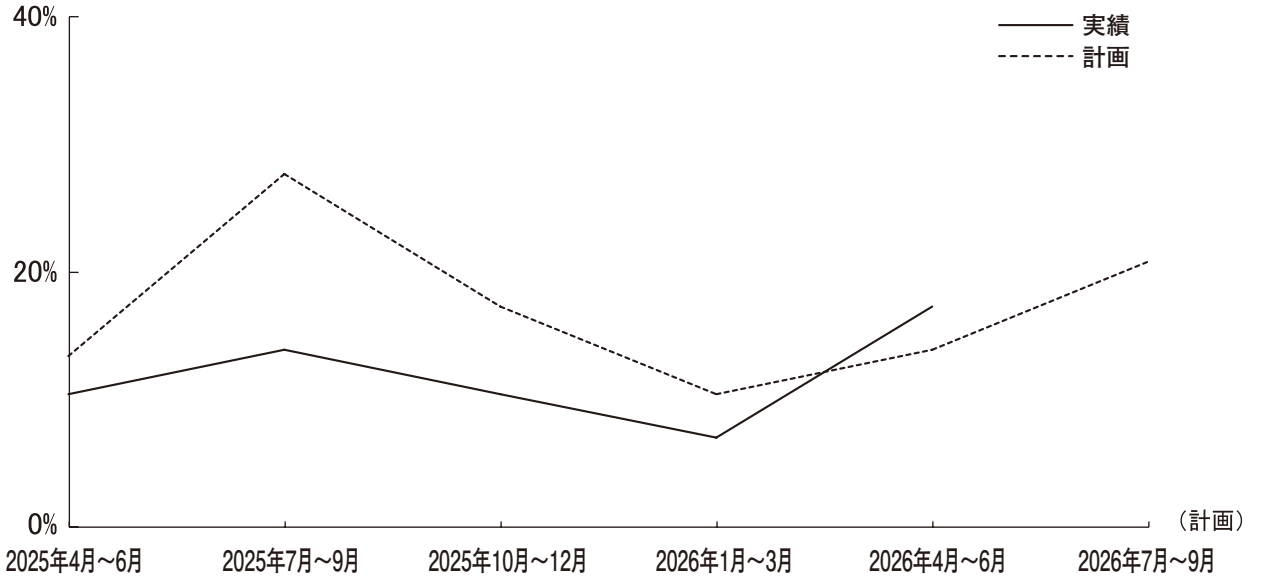


来期見通し　「好転」6.9%（前期は 6.9%、前年同期は 3.3%）、「不変」72.4%（前期は 58.6%、前年同期は 56.7%）、「悪化」20.7%（前期は 34.5%、前年同期は 40.0%）

資金繰り　**前期と比較**で、「好転」6.9%（前期は 3.4%、前年同期は 0.0%）、「不変」69.0%（前期は 82.8%、前年同期は 75.9%）、「悪化」24.1%（前期は 13.8%、前年同期は 24.1%）
来期見通しは、「好転」7.1%（前期は 7.1%、前年同期は 3.3%）、「不変」78.6%（前期は 78.6%、前年同期は 66.7%）、「悪化」14.3%（前期は 14.3%、前年同期は 30.0%）

借入金利　**前期と比較**で、「好転」8.3%（前期は 30.8%、前年同期は 8.3%）、「不変」91.7%（前期は 69.2%、前年同期は 87.5%）、「悪化」0.0%（前期は 0.0%、前年同期は 4.2%）

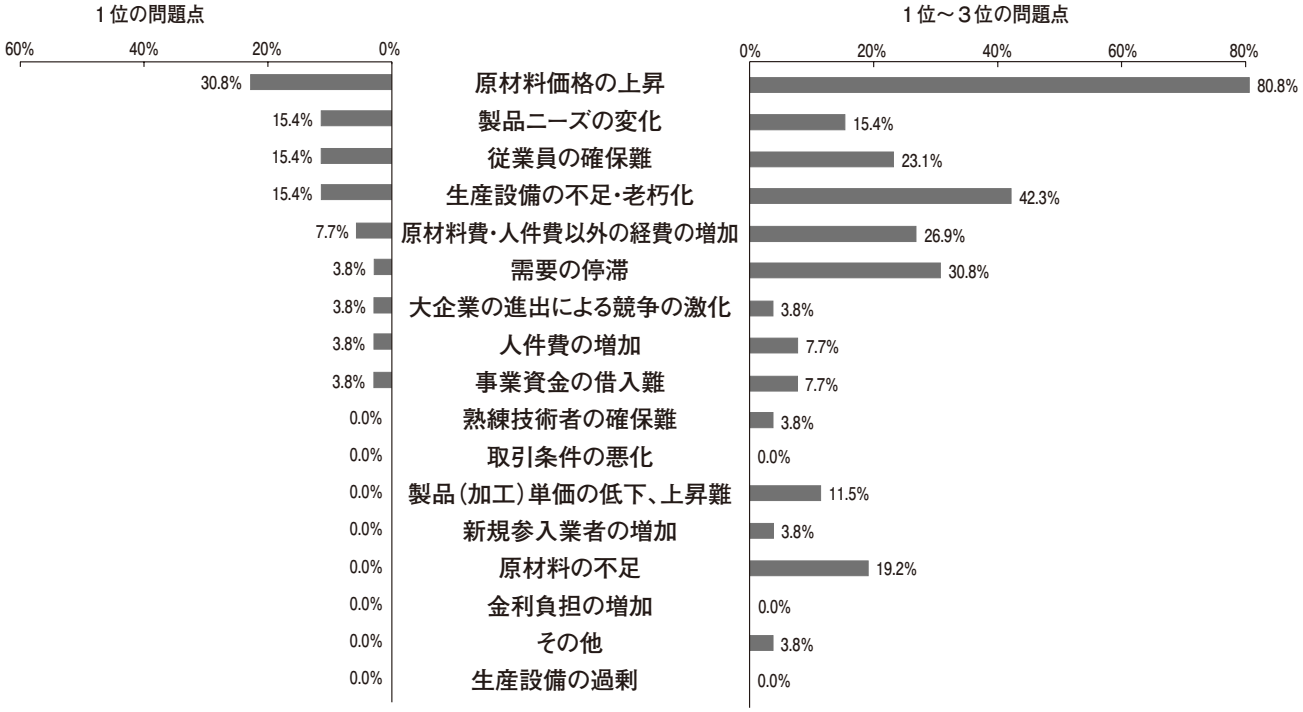
３　設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業５社（工場建物１、生産設備３、車両･運搬具１、付帯施設２、OA 機器１、福利厚生施設１、その他１）、実施しなかった企業２４社。来期に設備投資を予定している企業６社（土地１、工場建物１、生産設備５、車両・運搬具１）、予定していない企業２３社。

設備操業率ＤＩ値　－17.9（前期は 0.0、前年同期は－18.5）

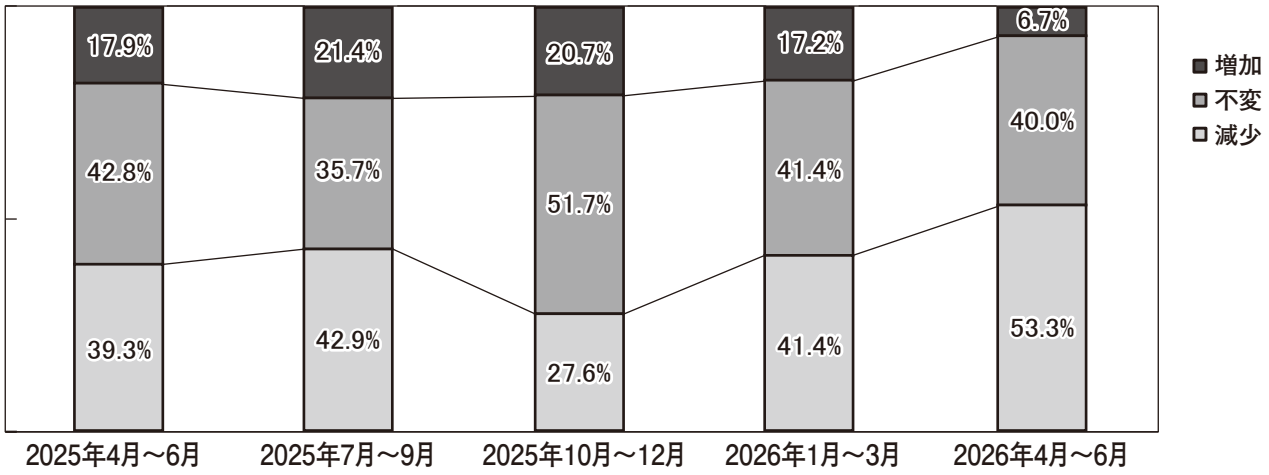
４　経営上の問題点の状況（１位と１～３位）



「需要の停滞」･「原材料価格の上昇」の割合が低下し、「生産設備の不足・老朽化」･「原材料費・人件費以外の経費の増加」･「従業員の確保難」の割合が上昇した。

3．山口県　建設業

1　完成工事額の状況　－前年同期比－

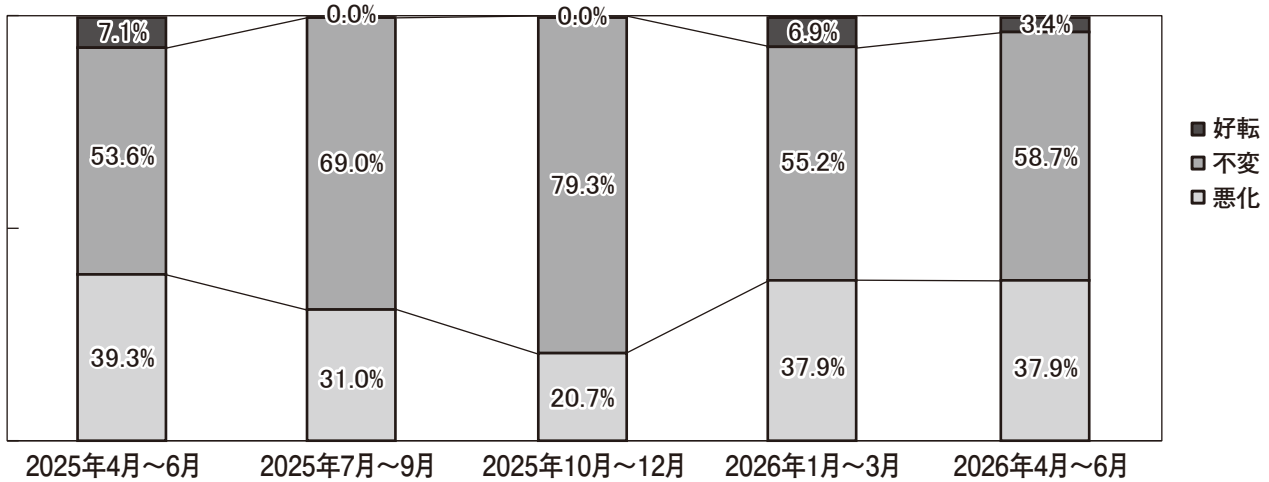


前期と比較　「増加」10.0%（前期は 20.7%、前年同期は 21.4%）、「不変」43.3%（前期は 51.7%、前年同期は 39.3%）、「減少」46.7%（前期は 27.6%、前年同期は 39.3%）

来期見通し　「好転」10.3%（前期は 3.4%、前年同期は 14.3%）、「不変」55.2%（前期は 65.6%、前年同期は 50.0%）、「悪化」34.5%（前期は 31.0%、前年同期は 35.7%）

その他のＤＩ値　**新規契約工事額**－27.6（前期は－34.5、前年同期は－27.6）、**材料仕入単価** 89.7（前期は 79.3、 前年同期は 75.9）、 引合い－16.6（前期は－12.0、 前年同期は－7.7）

2　採算の状況　－前年同期比－

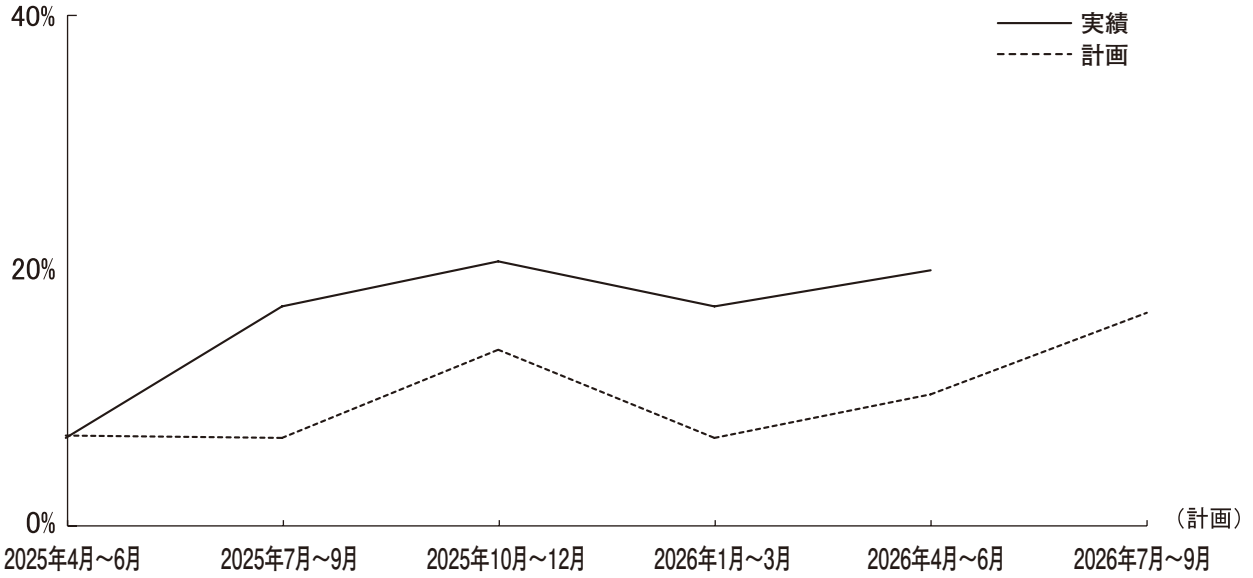


来期見通し　「好転」6.9%（前期は 0.0%、前年同期は 0.0%）、「不変」65.5%（前期は 82.8%、前年同期は 71.4%）、「悪化」27.6%（前期は 17.2%、前年同期は 28.6%）

資金繰り　**前期と比較**で、「好転」0.0%（前期は 3.6%、前年同期は 0.0%）、「不変」80.0%（前期は 82.1%、前年同期は 79.3%）、「悪化」20.0%（前期は 14.3%、前年同期は 20.7%）。**来期見通し**は、「好転」3.4%（前期は 0.0%、前年同期は 3.6%）、「不変」79.4%（前期は 75.9%、前年同期は 75.0%）、「悪化」17.2%（前期は 24.1%、前年同期は 21.4%）

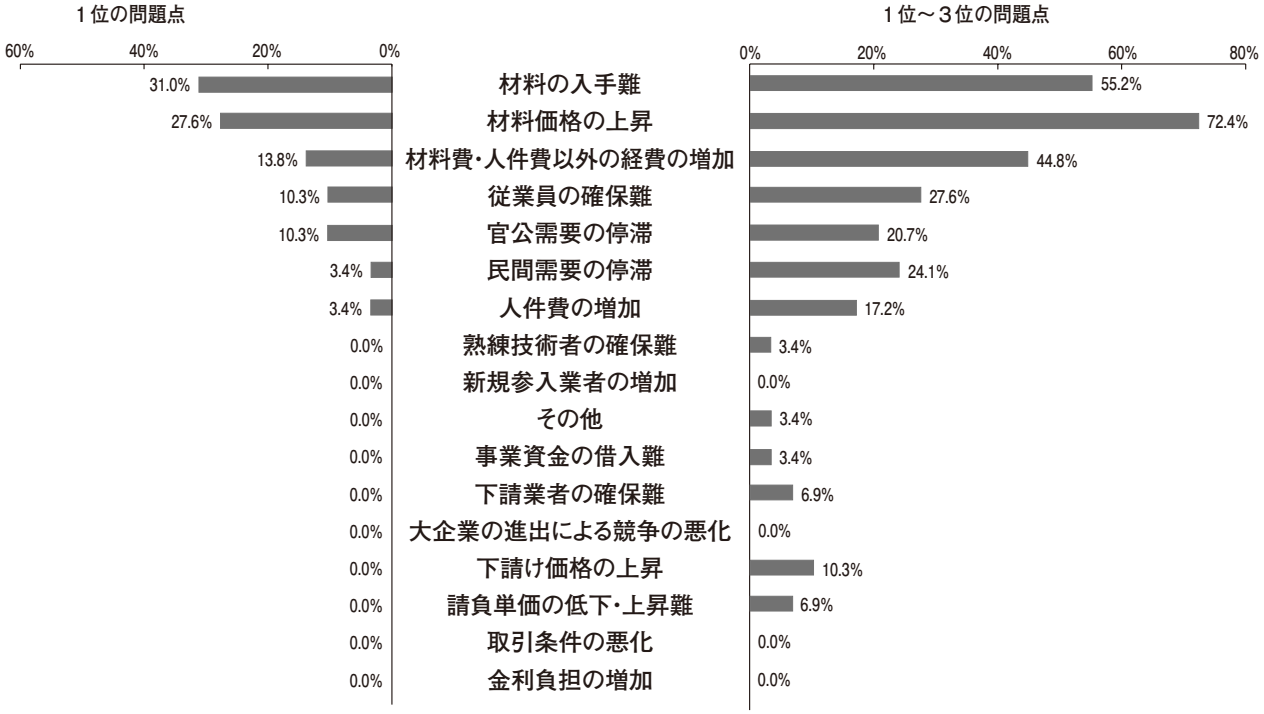
借入金利　**前期と比較**で、「好転」33.3%（前期は 27.3%、前年同期は 25.0%）、「不変」66.7%（前期は 72.7%、前年同期は 75.0%）、「悪化」0.0%（前期は 0.0%、前年同期は 0.0%）

３　設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業６社（土地１、車両・運搬具３、OA機器３）、実施しなかった企業２４社。来期に設備投資を予定している企業５社(土地１､建物２､建設機械１､車両･運搬具１、OA機器１)、 予定していない企業２５社。

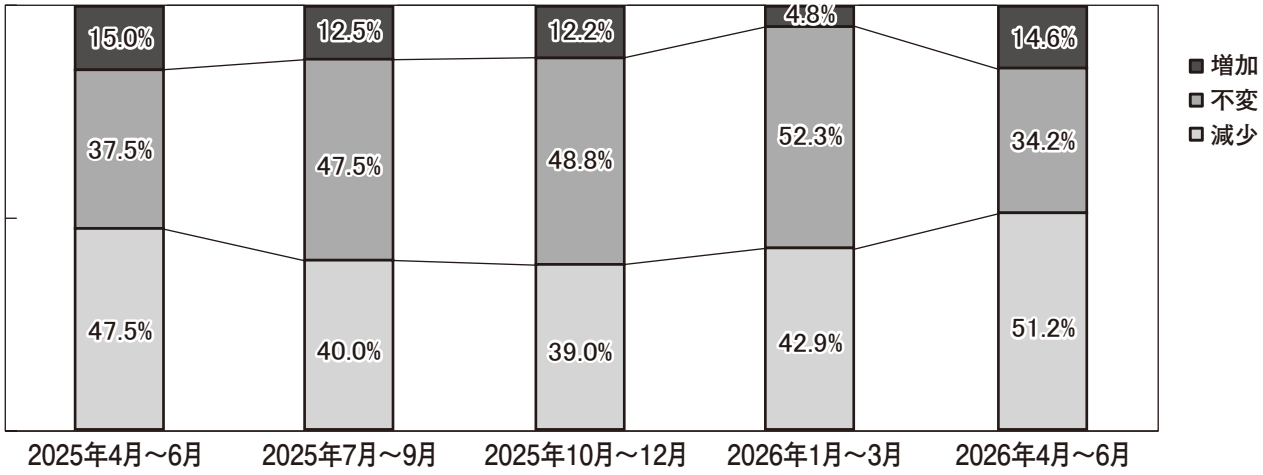
４　経営上の問題点の状況（１位と１～３位）



「材料価格の上昇」･「熟練技術者の確保難」の割合が低下し、「材料の入手難」･「官公需要の停滞」の割合が上昇した。

4．山口県　小売業

1　売上額の状況　－前年同期比－

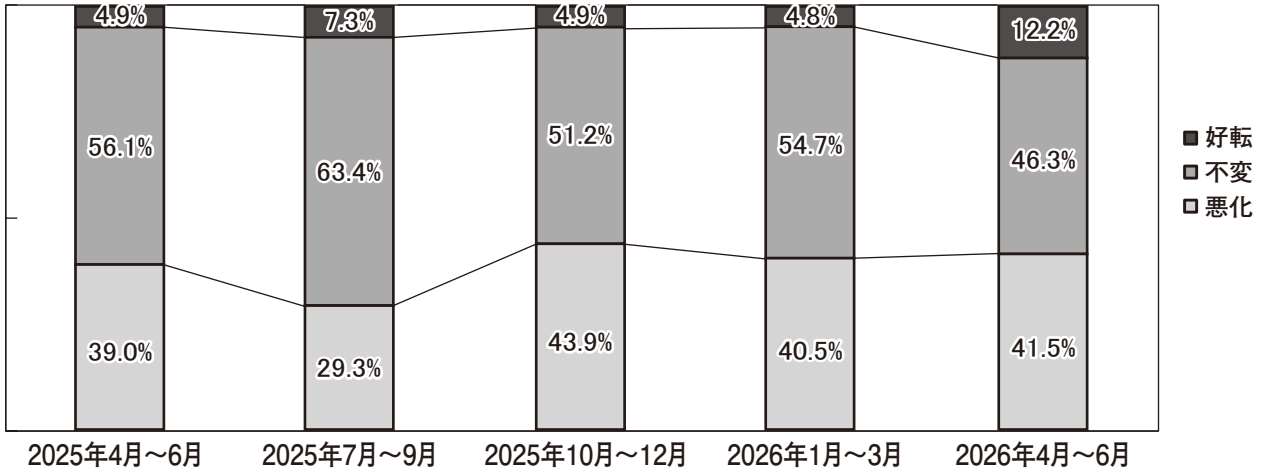


前期と比較　「増加」19.5%（前期は 9.3%、前年同期は 22.5%）、「不変」31.7%（前期は 41.9%、前年同期は 37.5%）、「減少」48.8%（前期は 48.8%、前年同期は 40.0%）

来期見通し　「好転」7.0%（前期は 5.0%、前年同期は 7.1%）、「不変」39.5%（前期は 67.5%、前年同期は 54.8%）、「悪化」53.5%（前期は 27.5%、前年同期は 38.1%）

その他のＤＩ値　**客単価**－4.9（前期は－33.3、前年同期は－17.5）、**客数**－39.0（前期は－45.2、前年同期は－42.5）、**商品仕入単価** 70.7（前期は 57.1、前年同期は 57.5）

2　採算の状況　－前年同期比－

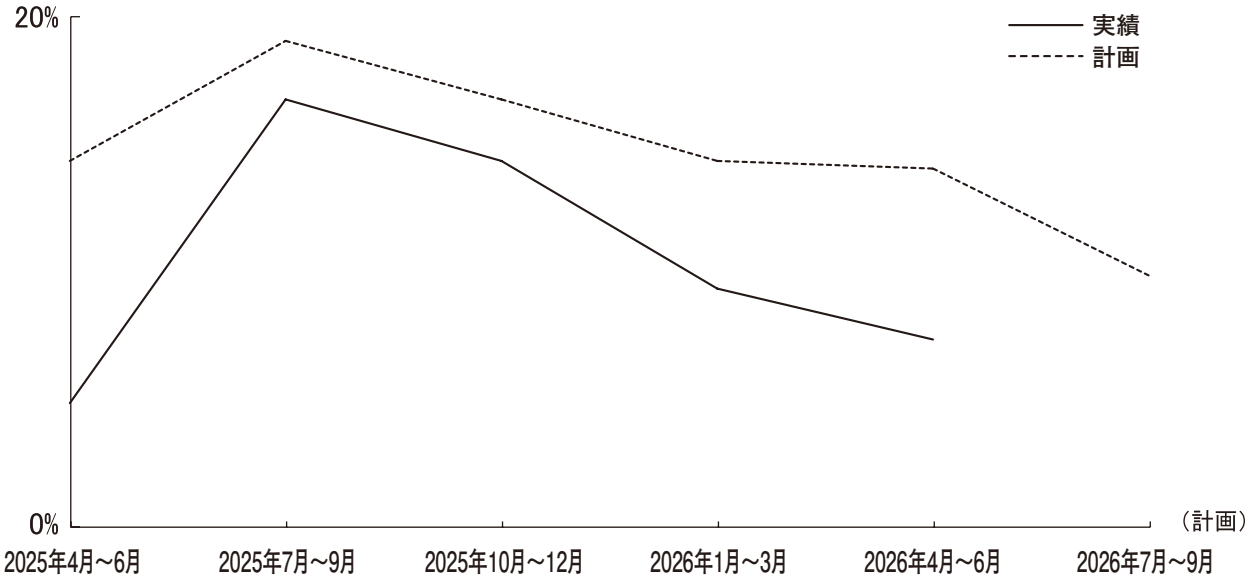


来期見通し　「好転」4.7%（前期は 5.0%、前年同期は 4.8%）、「不変」60.4%（前期は 65.0%、前年同期は 61.9%）、「悪化」34.9%（前期は 30.0%、前年同期は 33.3%）

資金繰り　**前期と比較**で、「好転」2.5%（前期は 4.7%、前年同期は 2.5%）、「不変」70.0（前期は 69.7%、前年同期は 70.0%）、「悪化」27.5%（前期は 25.6%、前年同期は 27.5%）
来期見通しは、「好転」9.3%（前期は 5.0%、前年同期は 2.4%）、「不変」60.5%（前期は 75.0%、前年同期は 73.8%）、「悪化」30.2%（前期は 20.0%、前年同期は 23.8%）

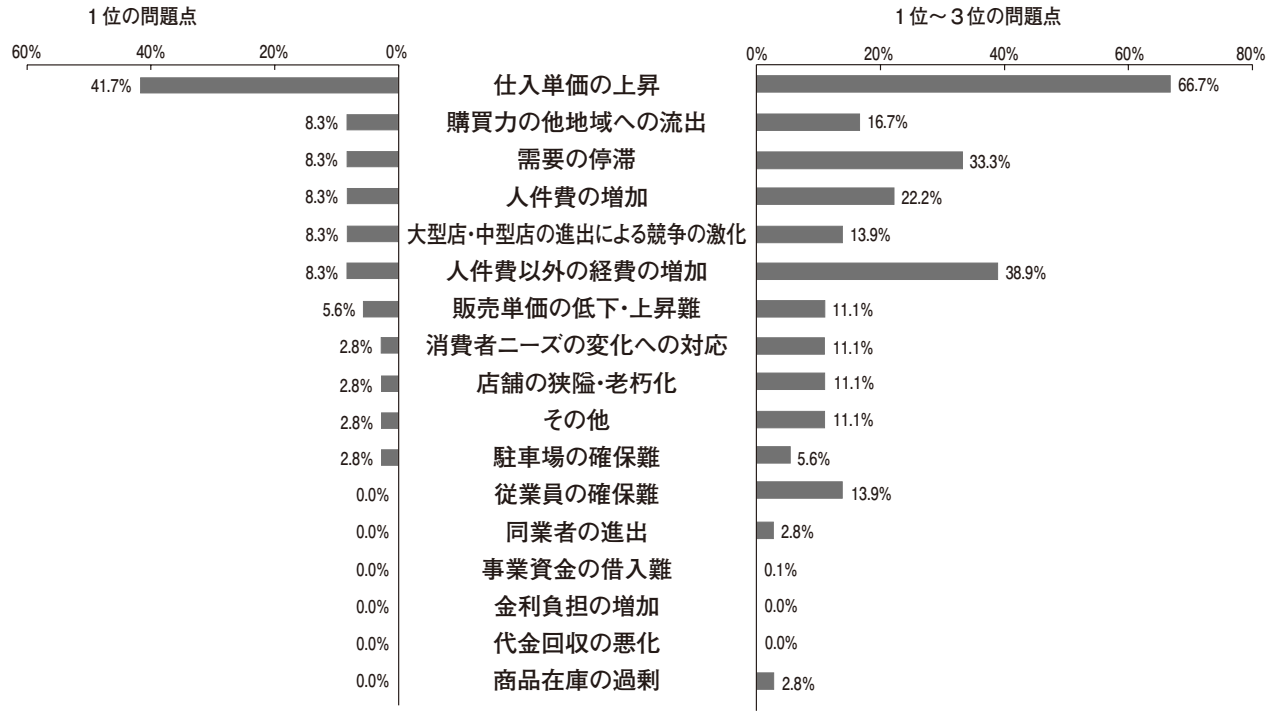
借入金利　**前期と比較**で、「好転」25.0%（前期は 29.0%、前年同期は 13.8%）、「不変」71.4%（前期は 71.0%、前年同期は 82.8%）、「悪化」3.6%（前期は 0.0%、前年同期は 3.4%）

3　設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業３社（店舗１、OA機器２）、実施しなかった企業３８社。来期に設備投資を予定している企業４社（店舗１、車両・運搬具１、付帯施設１、OA機器１）、予定していない企業３７社。

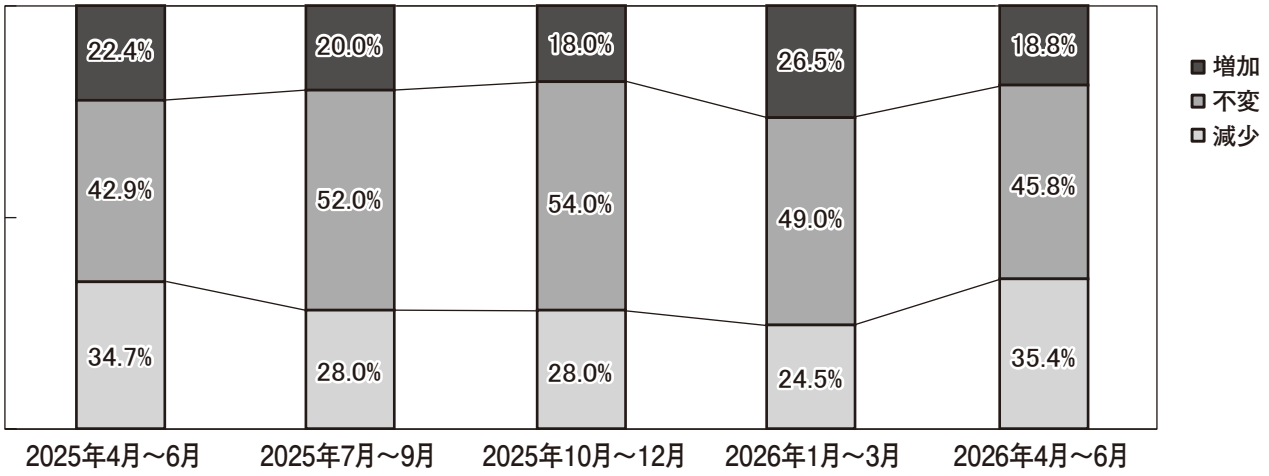
4　経営上の問題点の状況（１位と１～３位）



「購買力の他地域への流出」･「需要の停滞」の割合が低下し、「仕入単価の上昇」･「販売単価の低下、上昇難」の割合が上昇した。

5．山口県　サービス業

1　売上額の状況　－前年同期比－

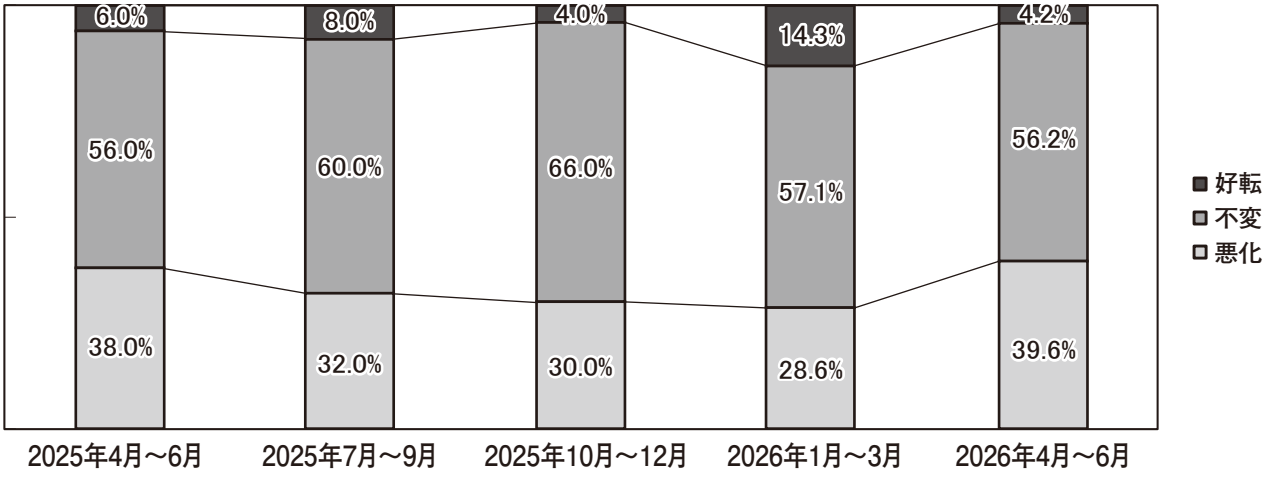


前期と比較　「増加」20.8%（前期は 24.5%、前年同期は 26.0%）、「不変」47.9%（前期は 36.7%、前年同期は 38.0%）、「減少」31.3%（前期は 38.8%、前年同期は 36.0%）

来期見通し　「好転」20.8%（前期は 10.0%、前年同期は 20.0%）、「不変」50.0%（前期は 62.0%、前年同期は 52.0%）、「悪化」29.2%（前期は 28.0%、前年同期は 28.0%）

その他のＤＩ値　**客単価** 14.6（前期は 20.4、前年同期は 4.0）、**利用客数**－33.4（前期は－2.0、前年同期は－32.0）

2　採算の状況　－前年同期比－

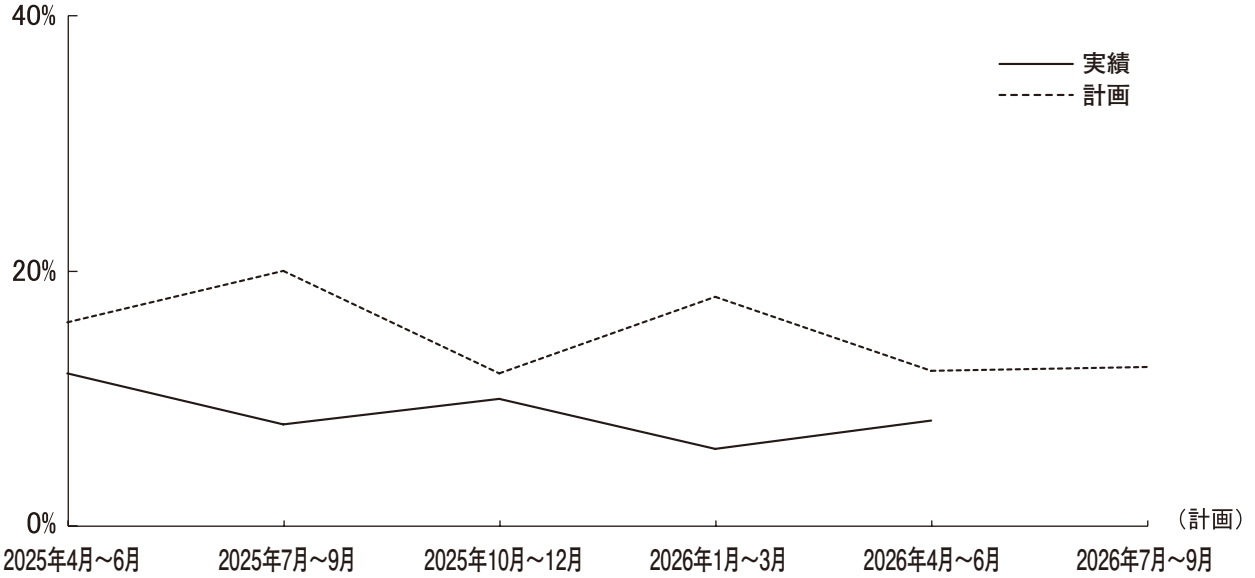


来期見通し　「好転」10.4%（前期は 2.0%、前年同期は 6.0%）、「不変」58.3%（前期は 70.0%、前年同期は 64.0%）、「悪化」31.3%（前期は 28.0%、前年同期は 30.0%）

資金繰り　**前期と比較**で、「好転」6.5%（前期は 8.2%、前年同期は 0.0%）、「不変」80.5%（前期は 77.5%、前年同期は 72.0%）、「悪化」13.0%（前期は 14.3%、前年同期は 28.0%）
来期見通しは、「好転」12.5%（前期は 0.0%、前年同期は 2.0%）、「不変」68.7%（前期は 84.0%、前年同期は 82.0%）、「悪化」18.8%（前期は 16.0%、前年同期は 16.0%）

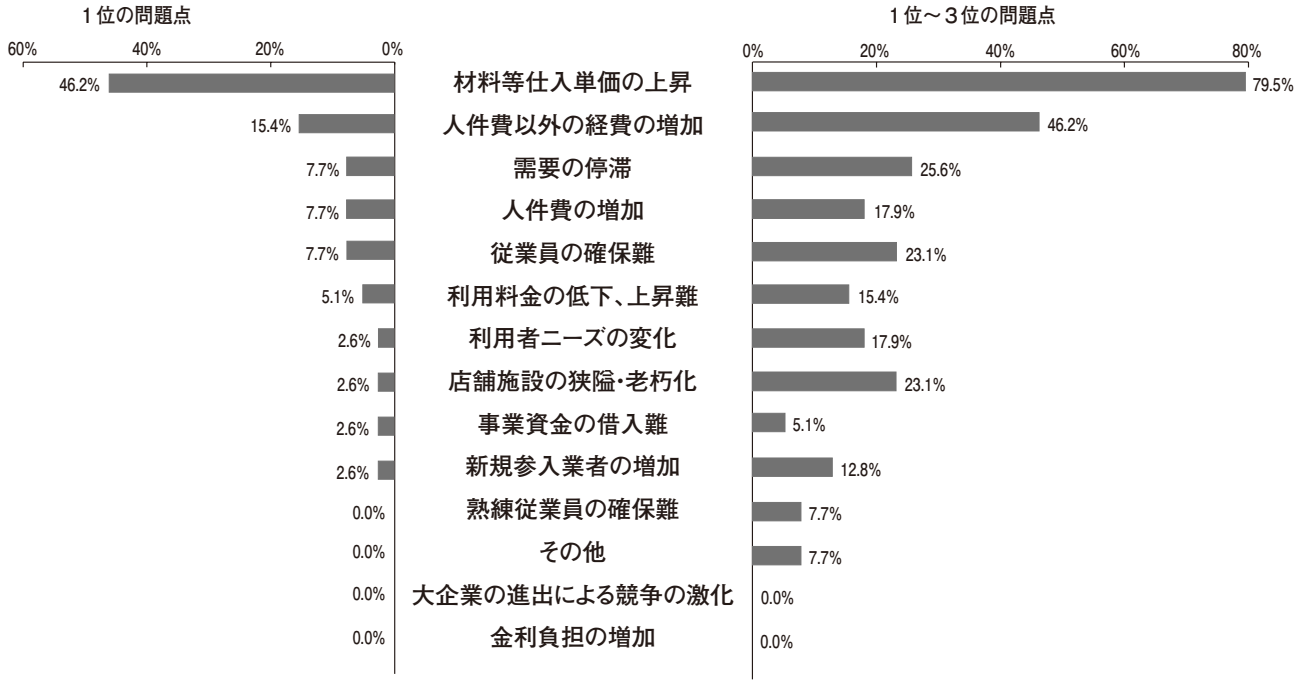
借入金利　**前期と比較**で、「好転」15.6%（前期は 22.5%、前年同期は 15.8%）、「不変」78.1%（前期は 75.0%、前年同期は 81.6%）、「悪化」6.3%（前期は 2.5%、前年同期は 2.6%）

３　設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業４社（サービス２、車両・運搬具２、付帯施設２）、 実施しなかった企業４４社。来期に設備投資を予定している企業６社（建物１、サービス３、車両・運搬具１、付帯施設２、OA 機器１）、予定していない企業４２社。

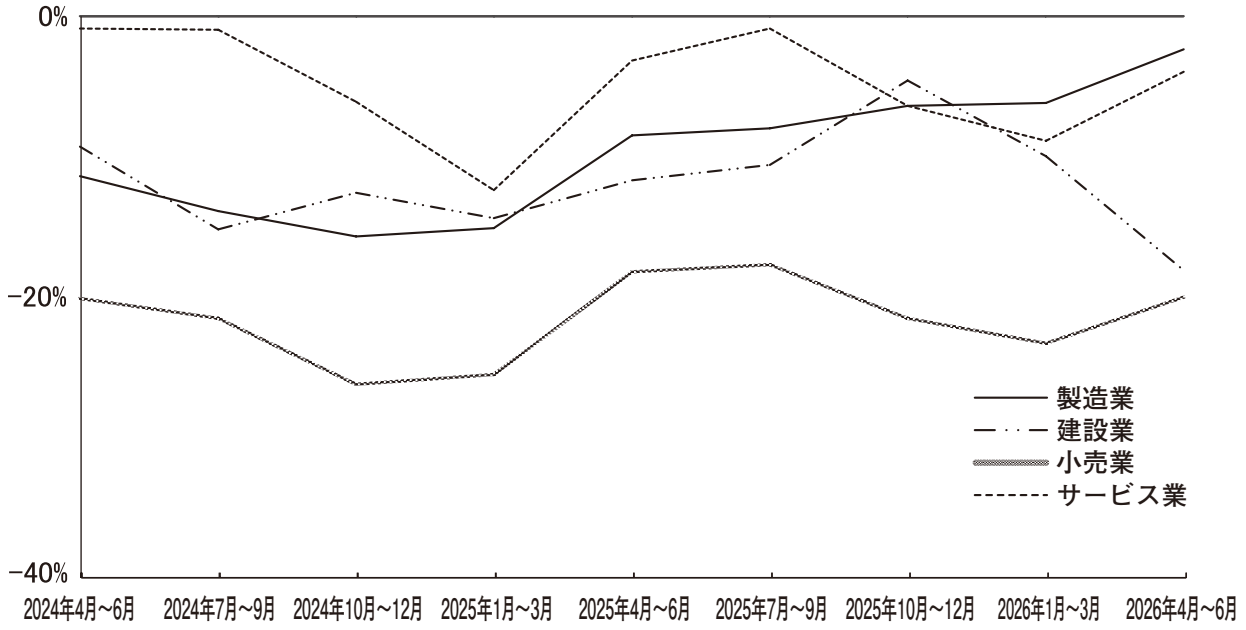
４　経営上の問題点の状況（１位と１～３位）



「利用者ニーズの変化」･「需要の停滞」の割合が低下し、「材料等仕入単価の上昇」･「人件費以外の経費の増加」の割合が上昇した。

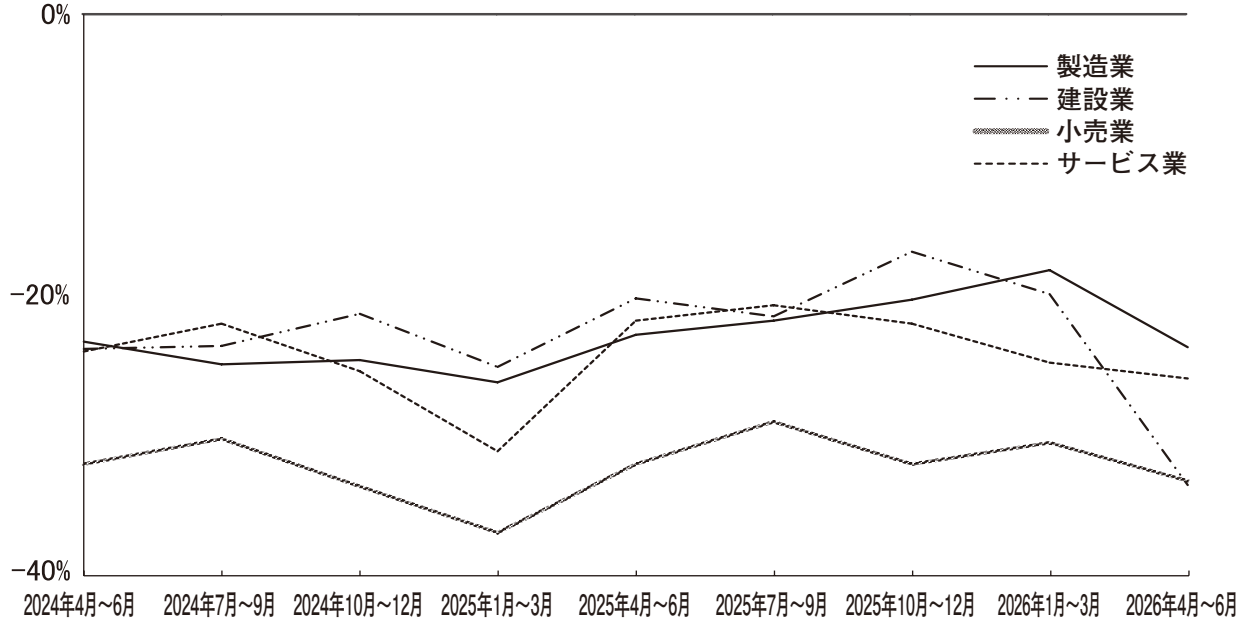
6．全国　全産業

1　売上（完成工事）額の推移　－前年同期比－



ＤＩ値　製造業－2.4（前期は－6.2、前年同期は－8.5)、建設業－18.1（前期は－10.0、前年同期は－11.7)、小売業－20.0（前期は－23.3、前年同期は－18.2)、サービス業－4.0（前期は－8.9、前年同期は－3.2）

2　採算の推移　－前年同期比－



ＤＩ値　製造業－23.8（前期は－18.3、前年同期は－22.9)、建設業－33.6（前期は－20.0、前年同期は－20.3)、小売業－33.3（前期は－30.6、前年同期は－32.1)、サービス業－26.0（前期は－24.9、前年同期は－21.9）

7．山口県　調査対象企業の声

■製造業■

○ただでさえ、業況が低調である上に、イラン情勢による石油製品の上昇が全く見通しのつかない展望になっており、短期中期を如何に乗り切るか、暗中模索している。

○運転資金の不足と設備の不足により生産性が低下している。

○業況は好転模様であるが、営業部門における人材不足が生じており、機会損失の発生を感じている。

○原材料が高騰している。

○社会情勢の影響が材料の値段や個数に多少出ているが問題はない。

○小ロットの発注が多く、生産効率が悪い。

○人件費の高騰が、雇用の確保及び設備投資を困難とさせる要因となっている。

○中東情勢悪化の影響により、原燃料不足や確保が未知数であり、生産活動に不安感が増している。

■建設業■

○喜ばしいことに従業員が増えたが、その分人件費と経費が増えてしまい少し苦しくなった。

○現在の社会情勢に於いて、工事受注の減少、従業員不足、材料単価の高騰等、全てに営業不安を感じる。

○現場の効率化や人員削減のため、ＩＴ化や機械・ソフト等の導入に経費がかかる。

○材料等の入手難で工事着工の予定が決めにくい。また、材料単価の上昇が頻繁にあり、見積りに反映させるのが難しい。

○昨年度は小さな仕事が来ていたが、今期に入ってからはほとんどなく、来期からの見通しが不安である。

○資材価格の高騰や深刻な人手不足により厳しい経営環境が続いている。

○資材価格や各種経費の上昇が続き、工事全体の採算確保が難しくなっている。材料の入手にも時間を要する場面が増えている。

○社会情勢の影響で建材（基礎工事に使用するシート）が確保できず、案件を受注できない場合がある。供給の見通しが立たない状況が苦しい。

○新築が減少して、建物の解体が多い。人口減少で空き家が増えた為だと思っている。

■小売業■

○ナフサ不足により包装資材の入手困難である。
○仕入れ値が上がっているが、注文量を減らすなど企業努力を続けている。
○仕入価格等の上昇により、大型店との差が大きくなって来ている。
○仕入先より納品の頻度を減らしてほしいと言われた為、必要以上の在庫を抱えることになった。こうした出費とリスクは今後増えそうだ。
○車の整備業界を取り巻く環境の変化が激しく、今まで通りの仕事ができなくなってきているため、続けていくことが厳しい。また、仕入れ価格が上がっており、資金繰りにも注意をしなければいけないと考えている。
○少子高齢化、人口減が進み消費支出はまだ落ち込む。ネットショッピングの比率が高くなると思う。
○中東情勢の不安定による仕入コストの上昇、商品の入手が困難なものがある。
○売上額が下がり、固定費が上昇している現状に中東問題が加わり、月単位での材料費の値上げ、仕入れ商品の不足、出荷調整など問題が山積みである。

■サービス業■

○６～８月は暑さ、梅雨の影響で、写真婚、各種前撮りをお客様が避けられるため、売上が伸びず厳しい状況である。９月からは、お客様のご利用が増えている。
○過疎地での事業展開においては、若手後継者の確保、育成が困難である。また、現状を改善するに際し、地域、行政の協力が十分に得られず、取り組みが思うように進まない。
○混迷する中東情勢により、エンジンオイルの仕入が難しくなってきている。当社はある程度、価格は上がったものの確保できていたが、これから先がどうなるか不安を感じている。
○材料費等仕入単価上昇に加え、オイル等が不足し、中々購入しても入荷しません。お客様に対して大変迷惑をおかけしている。
○食材、包装資材の価格上昇分を商品に転嫁しづらい。
○燃料費の高騰がきつい。
○売価を１０％～１５％値上げしました。お客さまは少し減少しましたが、９割ぐらいはしょうがないと認知されています。結果、利益率が上がりました。
○利用客減少ではあるが、仕入れも減少している。しかし単価上昇により、客単価を上げたいと思案中。価格を改定すると、客足が遠のくのではと心配である。

ソリマチ

クラウド会計ソフト
MA1
商工会エディション

商工会クラウド

商工会の新しい記帳システムがスタート。誰でも簡単に「クラウド会計」をご利用いただけます。



ソリマチ
イメージキャラクター
松岡 修造

- 誰でも迷わずにかんたん操作でスタート
- 簿記 会計や簿記に詳しくなくてもかんたん
- 法令改正があってもあんしん
- CREDIT CARD 最新のFintechアプリを搭載 自動取込・自動仕訳

製品・企画開発 ソリマチ株式会社

■東京本社／〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目9-7 大手町フィナンシャルシティサウスタワー 東京金融ビレッジ5階

www.sorimachi.co.jp

WorkVision
Creating Value for The Future

TIME MANAGEMENT

31

未来に向けた価値を創造し、お客様の成長を実現します。

株式会社 WorkVision
(旧社名：東芝ソリューション販売株式会社)

公共ソリューション事業部
東京都品川区東品川 2-2-4　天王洲ファーストタワー
TEL 03-4233-0990　https://workvision.net/